

# 国際農林水産業研究センター（JIRCAS）における 国際プロジェクト研究の評価

岡 三徳

国際農林水産業研究センター

1993年10月、国際農林水産業研究センター（JIRCAS）は、熱帯農業研究センター（TARC）を改組して発足した。その新たに拡大した分野と役割は、1）温帯・冷涼帯への対象地域の拡大、2）協力分野（林業、水産業、農業経済）の拡大と多様化、3）総合プロジェクト研究の推進強化、である。長年取り組んできた国際プロジェクト研究は、JIRCASの発足とともに、個別分野を対象としたプロジェクト研究から総合プロジェクト研究へと大きく拡大し推進している（添図）。

JIRCASでは、TARC以来これまで、年度末の試験研究推進会議、研究機関の研究評価、さらにプロジェクト研究毎の推進会議やワークショップ等を開催し、逐次、研究成果や課題の検討を通じて研究評価を実施してきた。平成9年の研究評価に関わる農水省の指針を受けて、JIRCASではプロジェクト研究の評価体制を整備し、平成10年度から推進評価実施要領に基づく国際プロジェクト研究評価を開始したところである。プロジェクト研究評価の実施から日も浅く、外国機関と共同して実施する研究の評価には、その手続や開催に際して困難な点も多いが、その現状を紹介する。

## 1. JIRCASにおける研究評価

農林水産技術会議事務局の通達「プロジェクト研究の推進及び評価に関する基本的事項について（平成10年）」及び「国際プロジェクト研究の推進について（平成10年）」を基に、JIRCASでは、「国際プロジェクト研究の推進評価実施要領（平成11年）」を策定した。こうして、これまでの研究評価に関わる事項に、国際プロジェクト研究の評価実施要領を加えて、JIRCASにおける全体の研究評価体制を定めた。その評価の分類を、機関評価と研究課題評価に分けて示すと次の通りである。プロジェクト研究の評価は、研究課題の評価に区分される。

### 1) 機関に対する評価：

- ①農林水産技術会議による機関研究評価：JIRCAS研究レビュー
- ②外部評価委員による機関評価：顧問会議

### 2) 研究課題に対する評価：

- ①プロジェクト研究：プロジェクト推進評価会議
- ②専門別・地域別評価：「国際農業」試験研究推進会議
- ③機関における課題評価：所内研究計画・成果検討会、部内検討会、国際研究推進委員会、国際プロジェクト研究WGグループ会議など

## 2. 国際プロジェクト研究の評価体制

前述したように、JIRCASが予算措置をともなって海外機関と共同で実施する「国際プロジェクト研究」を対象にした評価である。その評価体制は、次の通りである。

- 1) 評価区分：事前、毎年度、中間、事後の実施時期に応じた4区分の推進評価会議
- 2) 評価事項、項目・基準：4区分に対応した評価事項及び評価項目・基準様式の設定

## 3) 評価委員：外部評価委員（大学、JICA、JIRCAS顧問等、外国機関）

農水省内評価委員（経済局、技術会議事務局、関係試験研究機関等）

外部評価委員は、広く海外機関や共同相手国の関係機関に委嘱している。

## 4) 実施場所：国内（JIRCAS）や海外プロジェクトサイトで実施

国内外で実施する推進評価会議には、事前（前日）にプロジェクト研究に関わる「ワークショップ等」を開催して、担当研究者（JIRCAS、CP）の報告や論議を通じて、評価委員の理解を得た上での評価に努力している。

## 5) 評価結果の公表：インターネット等を通じた公表と理解への努力

## 6) 評価結果の活用：研究課題ごとの予算配分や開発資源の配分に反映

## 3. プロジェクト研究評価の事例

別紙に掲げたJIRCASの国際プロジェクト研究（総合プロジェクト研究）から、ベトナムのメコンやタイ東北部を対象とした地域総合研究プロジェクト等を対象に、研究評価の実施事例とともに課題、反省点等を紹介する。

## 4. 今後の課題

評価推進会議の実施を通じて、残された今後の課題は、1) 業務量の増大（資料作成、日程連絡・調整等）、2) 評価項目・基準に対する定義の明確化、3) 和英資料作成の煩雑性、4) 会議時の通訳による意思疎通、5) 海外共同研究機関との評価に対する相互理解等である。

